

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Copy for members

2021
Jun

6

Rotary
District 2790ガバナー月信
Vol. 12

To Club Presidents and Secretaries in District 2790(CHIBA)



「金沢ふるさと偉人館」提供



勝浦市の花「紫陽花」約一万株が群生、市民は元より高齢者福祉施設の皆さんが大勢訪れます。

日本のロータリー 100 周年

八田 與一 (1886 ~ 1942)

台北ロータリークラブ会員。東京帝国大学（現東京大学）を卒業後、日本統治時代の台湾総督府で技師となり、1920年から当時最大の水利事業、烏山頭ダム建設着工、また農業用水路も整備し、不毛だった南部の嘉南平野を穀倉地帯に代えた。農民に感謝され、戦後は台湾の教科書などにも取り上げられた。台湾で最も尊敬される日本人の1人。2021年5月8日、八田の命日に、このダムの着工100年を祝う式典が、台南市の八田與一記念公園で開催され、蔡英文総統、頼清徳副総統、蘇貞昌行政院長の台湾政治トップ3も参列。

国際ロータリー第2790地区 ガバナー 漆原 摂子

地区スローガン「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」

ロータリー特別月間／ロータリー親睦活動月間



ロータリーは機会の扉を開く

ロータリー親睦活動月間によせて



本田 RI 会長代理・令夫人とともに

国際ロータリー第 2790 地区

2020-21 年度 ガバナー 漆原 撰子 (勝浦 RC)

親睦 -Fellowship

今月は、ロータリー親睦活動月間です。1923-24 年度に RI 会長に就任したガイ・ガンディカー氏によると、ロータリーで言う親睦 -Fellowship とは、友情 -Friendship よりも一段強く、ロータリーの目的や理念を共にする仲間意識を指すものです。ガンディカー氏は、その仲間意識を育む場として、クラブ例会や奉仕活動をはじめとした、ロータリアンが集う全ての場と定義しています。ですので、私達の多くが認識している親睦活動、つまりゴルフや会食、釣りといった、娯楽を目的として集う会員の活動とは、少し異なります。

ロータリー親睦活動グループ

国際ロータリーより公式に認定を受け、独立して運営される、ロータリー親睦活動グループというものがあります。ロータリー親睦活動グループは、共通の趣味・関心事を土台としたロータリー会員の集まりです。90 近くのグループがあり、「スキー」「ゴルフ」といったスポーツはもとより、「手品」「顎ひげと口ひげ」などユニークなグループ、「野生生物の保全」「経営幹部」などのグループもあります。どんなグループがあるかは、RI のホームページより検索出来ますので、ご自身に合ったグループに加わり、国を超えて仲間意識を高める活動にチャレンジしてみたいかがでしょうか。それぞれのグループは独自の会則及び会費があります。「乗馬」というグループもありますので、私はガバナーの任期を終えたら、加入を試みようかと思っています。

SRF に関して

(Shaping Rotary's Future ロータリー未来形成)

さて本年 2 月のガバナー月信でもご案内致しました、RI が検討している SRF ですが、当地区では、RI から発信される情報を精査し地区内会員に発信するための、タスクフォースを結成させていただきます。また、梶原等ガバナーエレクトの組織図内、ロータリー情報委員会においても、SRF に注視していただけるようです。現段階ではまだまだ RI からの情報が不足しておりますので、次年度以降でも継承していただけますことに安堵しています。

1 年間を振り返り

ガバナー月信における私のご挨拶とご報告も今回で最後です。若輩に加え浅学菲才の身でありながらガバナーノミニージェグネイトとなり、地区チームの一員となりましてから、あっという間の 3 年半でございました。会員の皆様には、地区運営へのご理解ご協力に心より御礼を申し上げます。また私達が新型コロナウイルスとのお付き合いを始めて 1 年半近くが経過致します。この想定外のパンデミックは、クラブの皆様も同様と拝察致しますが、地区の諸活動も様々な制限を受けて参りました。そのような中で柔軟性をもって、新しい生活様式に対応すること止む無しと受け止め、適応力を高めて、先般も前代未聞の無観客地区大会を開催致しました。ご視聴いただいた会員の皆様へは、深く感謝申し上げます。来月にスタートする梶原等ガバナー年度におきましても、皆様の倍旧のご厚誼をお願い申し上げますとともに、まずは皆様のご健康を衷心より祈念申し上げます。1 年間ありがとうございました。



今年度を振り返って

国際ロータリー第 2790 地区

2020 - 21 年度地区研修リーダー

パストガバナー **青木 貞雄**

(成田コスモポリタン RC)

1989年に会員資格の性差別が廃止されて31年目となる2020年、当地区初の女性DG（地区ガバナー）に就任した漆原撰子さん（日本初の女性DGが2007年に誕生してから10人目。但し、同期に他2名）にとって、昨年1月15日に日本で初の感染者が出た新型コロナ禍の収束が未だ見通せない中、主役であるクラブの活動が制約されると同時に、地区の行事等も中止・規模縮小を余儀なくされ、思い描いた活動が出来ずに歯がゆい1年であったと思います。しかし、元来の勤勉さと強い責任感に加え、未曾有の事態への危機管理を含め、柔軟性と工夫を凝らして難局に対処すると共に、地区チーム、及び多くのクラブの協力をも得て、クラブ・地区の明日の発展に繋がる「機会の扉を開く」素晴らしいリーダーシップを発揮しました。

定款第7条第1節(d)(3)に基づく例会長期休止を想定し、今や一般化したクラブのオンライン例会導入に資する電子媒体活用講習会を早期に開催しました。また、緊急事態宣言下等でも地区の活動停滞を避けるため、セミナー・行事等をバーチャル開催としてロータリーの新たな運営形態を定着させました。

クラブ公式訪問は、3密を避けるオンライン会議導入等で予定通り実施し、RI方針説明に加え、クラブ戦略計画策定の重要性を説くと共に、前年度末に実施が決定された地区新グループ構成への理解取得に努め、責務を果たしました。

同時に、AG（ガバナー補佐）には、地区グループ再編成案周知徹底、及びクラブが抱える課題の抽出と改善取組みを求めました。この結果、責務を明示されたAGの多くは、DLP（地区リーダーシップ・プラン）に基づく職責を果たしてくれました。

地区グループ再編成の目的であるAGの選出基盤、及び担当範囲の公平化を通じたクラブの活動活性化支援に向け、地区は、会員減少等により生じた地区内グループ別クラブ・会員数格差の是正方針を、数年前より明示・検討してきました。漆原DGは、クラブ公式訪問を通じて実施に向けた理解を多くのクラブから得たと考えていましたが、期の半ばになると、同時に進められた次年度AG選出手続き見直しを含め、具体案発表が突然で実施は時期尚早、クラブの意見を聴取すべき等の異論が4割超となったこと、及び次年度に向けた活動開始時期が迫ったこ

と等に鑑み、実施に理解を頂いた多くのクラブに対する心苦しさに悩みながらも、決定した前年度DGの了解を得て、2月に実施延期を決めました。

同時に、グループ再編成は、実施を2023年7月とし、それまでにクラブの意向聴取と原案見直し、及び周知を図る新たな日程を設定しました。また、AG選出手続き、及びグループ再編成等に関するクラブの理解を得るため、従来クラブに説明が充分行われてこなかったDLP紹介の月信特別号を発行しました。

今回の地区グループ再編成等で露呈した地区とクラブとの間の見解の齟齬解消に必要な相互理解・連携深化、及びクラブを越えた会員間の人的繋がりを生かすには、例えば、地区委員を全クラブより輩出する等の方策が必要と考えます。

新型コロナ禍関連を除くクラブが抱える課題は、会員の減少と高齢化、並びに若手会員のロータリー活動理解度未熟等に起因する例会・奉仕活動への参加者減と活動低迷、及び年代別会員間の意思疎通乖離等が中心でした。ロータリーは単年度制と言われますが、これら課題の解決は一朝一夕には困難です。RIは元より、当地区でも戦略計画委員会を通じて中長期対応を検討していますが、クラブにもCLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）導入を含めたクラブの運営効率化と課題解決への中長期の取組が求められます。

新型コロナ禍により例会出席者が減少したクラブがある一方、減少した参加型例会の出席率が向上したクラブがあります。また、地区グループ再編成等に対するクラブの見解とは異なる意見の会員もいる等、ロータリー、そして、ロータリアンとは何かを改めて考えさせられた一年でもありました。地区研修リーダーとしての貢献は微弱ですが、RIの最新情報に触れる機会を得たこと、及びAG研修資料として、ロータリーの歴史と基本活動、当地区の現状分析等を含む「2020-21年度AG必携」を編纂したこと等で、改めてロータリーを学ぶことが出来、感謝しています。

漆原DGは、梶原GE以下の後任者と連携して地区運営を進めてきたため、クラブの基盤向上に向けた今年度の取組みが引継がれ、新型コロナ禍の収束に伴い花を咲かせてくれるものと確信しています。



「記念すべき100年目の年を振り返って」

2020-21 年度
国際ロータリー第 2790 地区
地区幹事長
吉田 理愛 (勝浦RC)

皆様こんにちは！早いもので今年度も残すところあと1か月弱となりました。あらためて振り返ってみると、本当に新しい扉をたくさん開いた2020-21年度だったと感慨深く浸ってしまいます。

クラブ会長の経験もない、ロータリー歴若干8年目の私に、地区幹事長が務まるのか？という不安も、ただひたすらに柔軟に挑戦するという勢いのみで走り抜けました。

上半期、先ずは7月22日成田コスモポリタンRCから公式訪問がスタートしました。本来なら82クラブ全てに随行できれば良かったのですが、私は31クラブに随行訪問させて頂きました。

自クラブ以外に殆どメイクアップに出た事のない私にとっては、とても刺激的で勉強になる機会でした。例会のやり方、活動計画書、クラブ細則、そして訪問先での温かいおもてなしと素敵な皆様との出会い！これから先のロータリー人生に活かして参ります。

また今年度は幹事長の役得で様々な委員会のセミナーにも参加させて頂きました。どの委員会もハイブリッド形式を取り入れるなど、新しい生活様式に則った扉を開いた工夫されたもので、いろいろな学びがありました。

下半期に入り、大きなイベントは日程延期となった「地区大会」となりました。再度の緊急事態宣言も発令し、一時は不安も過ぎりましたが、「ロータリーに於いて、広大なビジョン、崇高な目的は必ず勝利を取めます。」というポール・ハリスの言葉の通り、第2790地区初の試み、オンラインライブ配信という形にて無事に開催する事が出来ました。閉会の点鐘が鳴った瞬間の喜びと、ガバナーの最高の笑顔はずっと胸に残るでしょう。

ロータリアンである限り、新しい事、様々な事にチャレンジする機会に恵まれ、学ぶ事が出来る環境、そしてロータリアンの皆様との出会い。

残る任期、気を抜かず全うできるよう頑張ります。地区内全てのロータリアンの皆様へ、心より感謝と愛を込めて。



「漆原年度を振り返って」

2020-21 年度
管理運営統括委員会
統括委員長
堀内 正一 (木更津RC)

2020-21 年度管理運営統括委員会は「クラブ奉仕・会員基盤向上委員会」「広報・公共イメージ向上委員会」「フェローシップ・親睦活動委員会」「ロータリー研

修委員会」「RLI 推進委員会」の5委員会で活動してまいりました。

特にコロナ禍のなか5つある委員会の連携そして委員会の皆様との「和」を大切に、地区スローガンであります「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」を具現化する為に活動してまいりました。

5つの委員会の内、中村俊人クラブ奉仕・会員基盤向上委員長、吉田正子広報・公共イメージ向上委員長、野城隆憲フェローシップ・親睦活動委員長をはじめとする各委員会の皆様による3委員会合同セミナーを10月に開催しました。

当日は委員会の活動報告と地区内にあります4つの同好会、野球リーグ・二輪車の会・スリランカクラブ・女性交流会からそれぞれ特徴のある楽しい活動の発表が行われました。皆様からのアンケート集計ではコロナ禍で会員維持が難しいなか特に同好会の活動は大変参考になりましたとの評価を頂きました。

山下清俊委員長のもとRLI 推進委員会は、2021年4月3日にパート1が開催され以降パート2、パート3と実施されます。今年度RLIを導入してから10周年を迎えました。皆様の積極的な参加を引き続き宜しくお願いします。

ロータリー研修委員会では海賢勘一委員長の発案で「ロータリー談義の集い」を全82クラブから各1名を14回に分けて開催。特徴は7名のバスターガバナーが交互にアドバイザーとして参加され、開催場所も地区ガバナー事務所であり、参加者の皆さんからは「ロータリー談義の集い」を通じて、ロータリー理念や情報を知り、覚える喜びを共有して頂けていると思います。

最後になりますが、矢野理恵管理運営統括副委員長並びに5委員会の委員長・委員の皆様1年間大変お世話になりました。

またコロナ禍のなか度重なる日程の変更など会員皆様にご協力を頂きまして感謝申し上げます。



「漆原年度を振り返って」

2020-21 年度
職業・社会・国際奉仕統括委員会
統括委員長
水野 晋治 (柏西RC)

今年度は準備段階の4月にコロナ禍により活動が一時止まり、そのまま年度のスタートを迎えることになりました。当初予定していた8月のセミナーは延期し、12月に第3波が心配される中オンラインとの併用で開催致しました。

その他当初考えていた活動は取捨選択を迫られました。ロータリー財団の補助金を使った職業研修チーム(VTT)の活用などへも取り組みや研究を進めたいと考えていましたが、海外へ行く見通しも立たないことから早々に断念しました。

社会奉仕については、当初自然災害の際に地区内での相互支援のネットワークづくりを検討していました。第 2560 地区新潟では中越沖地震をきっかけに共済システムが確立されています。この件については行政との協議やクラブ関係者を集めた会議などもできず年度内に一定の成果を出す見通しが立たないことから委員会内の研究に留めました。

続いて地区補助金の選考ですが、ロータリー財団委員会に加え 3 年前より奉仕系委員会が参加し、合同で選考をするという流れが続いています。今年度我々は、国際ロータリーの戦略的優先事項「1. より大きなインパクトをもたらすか、2. 参加者の基盤を広げる、3. 参加者の積極的な関りを促す、4. 適応力を高める」という 4 つの項目を基に 3 段階で評価し、合計点を出すという評価システムを作りました。4 月 17 日に合同選考会が行われそれぞれの立場での評価を持ち寄り効果的な選考が行えました。



「漆原年度を振り返って」

2020-21 年度
青少年奉仕・青少年育成 委員会
統括委員長

中澤 良夫 (四街道 RC)

1 年程前、地区研修協議会は YouTube による配信にて行われ、初めての形となり社会情勢や情報技術の変化を感じた出来事となりました。当部門では先輩達が築いてきた恒例行事が青少年各委員会に多数あり、大人数で集まる事がほとんどであり、未成年と関わるため危機管理には特に気を付けなくてはならない部門です。

そのためインターアクト委員会では 8 月の年次大会、11 月の国外研修を中止とし、RYLA 委員会では RYLA セミナーを 2 月に鴨川にて開催すべく毎月集まり準備を重ねてきましたがコロナ禍の情勢を鑑み 12 月に中止との判断に至りました。

青少年交換委員会では青少年交換事業に候補生と毎月のオリエンテーションに勤しんできましたが中止とし、ロータリーアクト委員会でもロータリークラブに準じ例会の中止や Web 形式での例会などを余儀なくされました。

そのような状況下、11 月には Web 併用形の青少年部門セミナーを開催し、ロータリークラブ各位にむけて各委員会の活動を紹介させて頂きました。

3 月には学友連絡委員会を中心に米山学友、財団学友にも演奏、演舞を披露頂き、会場運営には青少年部門各委員会が協力して運営、コロナ対策も十分に施された Web 併用型の素晴らしいチャリティーコンサートを作り上げてくれました。

期末に差し掛かりましたが 6 月には各高校のご協力によりインターアクト指導者養成講習会が開催される運

びです。

またロータリーアクト年次大会も Web 形式ですが開催の運びとなりました。

まさにパンデミックにより非常事態の中での委員会運営となり暗中模索と言う感覚でしたが若者の集まりであるロータリーアクトでは例会や会長幹事会などをロータリークラブに先んじて Web にて行い、各委員会にも IT 技術に明るい方が多かったことで Web を使って各行事を運営することができ、ノウハウの蓄積ができました。

また、行事が中止になった事により勉強会を行う機会が作れて各委員会の活動を見つめ直す時間となりました。

今後、パンデミックなどが起こらないことを祈りますが非常事態の中、危機管理、Web 技術等に精一杯がんばった委員会活動は後年の手本ともなる貴重な年度となりました。

結びに非常事態の中、ご協力、ご指導頂いたロータリアン各位、各プログラム参加青少年各位、そして素晴らしい委員会運営をして頂いた委員各位に深く感謝致します。



「寄付と補助金と寄付ゼロ」

2020-21 年度
国際ロータリーのロータリー財団委員会
統括委員長

櫻木 英一郎 (千葉 RC)

3 年間のロータリー財団委員長の任期の最後に寄付と補助金について記します。ロータリー財団は寄付集めのみではありません。One Rotary の中で RI は運営と理念や活動方針を示し、ロータリー財団は資金や方法論を提供して実践活動を支援する役割です。資金支援とは補助金であり、補助金の元は寄付金なので寄付が支援の基です。

ロータリー財団への寄付は他の団体に運用を任せしてしまうお金ではなく、自分達を含めて広くロータリーが使う為の資金準備です。ロータリーの奉仕活動は通常は寄付で賄います。日本ではクラブ会費から奉仕活動資金を出しますが、世界の多くのクラブでは奉仕活動資金は自らが駆け回って寄付を集めて賄います。

その寄付を組織的に世界規模で集めるのがロータリー財団です。世界中からの寄付は各種の補助金になり、補助金の中でも各クラブの活動の支援金になるのが年次基金寄付からの補助金です。よって通常「寄付」とは年次基金寄付を指す場合が多いです。

年次基金からの補助金は大きく 2 つに分れ、半分はロータリー財団本部が運用して世界規模の奉仕活動への支援金になります。世界では活動の意欲はあっても資金が充分でない地域が殆どです。そういう地域を支援する事も世界組織のロータリーの大き

な意義です。今一つの半分は、地区内のクラブ等が企画した地区内、日本、海外での活動への支援金です。則ち、寄付金と補助金はロータリーの共済機構であると言えます。

寄付は義務ではありませんが、ロータリアンとしての責務と言えるのではないのでしょうか。義務ならば一定の基準があり、且つ会員資格に関わりますが、寄付は応分です。「義務ではない」とはこの意味ではないのでしょうか。

寄付は世界と共に我が地区の他のクラブの活動支援の為でもあります。「義務ではない」、「地区が気に入らない」等々、寄付をしない理由付けは色々可能ですが、寄付をしない様に申し合わせるのもクラブの自由ですが、それらは世界組織のRIの所属クラブとして、また地区内のロータリークラブとしての応分の責務を果たせない事になると懸念します。但し、それも各クラブと個人の認識と意識によると考えます。義務ではないのだから。

(2021.4.30 記)



「漆原年度を振り返って」

2020-21 年度
(公財)ロータリー米山記念奨学会委員会
委員長
鈴木 荘一 (君津RC)

昨年に引き続き米山記念奨学会委員会を担当させて頂きました鈴木荘一です。コロナ禍であるにもかかわらず地区会員皆様におかれましては米山奨学事業に様々な形でご理解とご協力いただきましたこと心より感謝申し上げます。

今年度は下記の通り地区事業を実施しました。

2020 年

○ 6 月 20 日

第一回奨学生研修会 米屋観光センター
講師 諸岡靖彦パストガバナー

○ 7 月 4 日

「奨学生・カウンセラー」セミナー
講師 第4代米山親善大使
カレンジュリアウォータース様

○ 7 月 18 日

クラブ米山記念奨学会委員長セミナー
講師 (公財)米山記念奨学会理事
関口徳雄パストガバナー

○ 10 月 25・26 日

米山記念奨学生 視察研修
ホテルブルーベリーヒル勝浦
講師 第2750地区
ポリオプラス委員長 柳邦明様

○ 11 月 28 日

忘年会 学友連絡協議会主催の開催

2021 年

○ 1 月 11 日

2021 学年度米山奨学生選考会

○ 1 月 12 日

新年会 オンラインにて

○ 3 月 13 日

2020 学年度終了式

上記以外に年間通じて地区内各クラブへの奨学生の卓話事業や地区内各事業への参加。

地区委員会の第一の目的は奨学生・カウンセラー・指導教員皆様の交流の舞台である世話クラブ皆様をバックアップする事でした。自分自身、皆様に親身になって奉仕ができたか反省多い一年ではございましたが、終了式での奨学生の晴れやかな様子を見て何かしらのサポートができたのではないかと委員共々胸をなでおろしています。米山事業にご協力頂きました地区の会員皆様、そして地区委員会の委員の皆様には、心から感謝申し上げますと共に、引き続き変わらぬご指導ご鞭撻を頂きますことを、心よりお願い申し上げます一年の総括とさせていただきます。ありがとうございました。



「Festive Year 委員会」

2020-21 年度
FestiveYear 委員会
委員長
寒郡 茂樹 (富里RC)

Festive Year 委員会は、日本のロータリー 100 年及び日本で開催されるオリンピックを祝う晴れやかな年度に向けて、第 2790 地区としての大きなイベントを行うべく、特設された委員会です。

当初の予定では、成田空港に特別なブースを設け、第 2790 地区の各クラブ方々と、世界中から訪れるロータリアンとの交流がおこなえるような、お出迎えの仕組みを考えておりました。また年度の後半には、華やかな年を会員全員でお祝いできるように、東京ディズニーランド等をお借りして、大きなイベントも考えていた次第ですが、新型コロナウイルスの影響でこれらの計画が実現不可能となりました。

それらを補う訳ではありませんが、記念誌を作成し、100 年を祝うメモリーとなるべく、各クラブの皆様方や各委員会の会員の皆様方にご協力いただくこととなった次第です。

新型コロナの流行という大変特殊な 1 年ではありましたが、皆様の心に刻まれる記念誌であることを希望してやみません。ありがとうございました。

1年間を振り返って



「1年間を振り返って」

ガバナー補佐
第1グループ担当

宮崎 俊雄 (浦安RC)

漆原ガバナーの「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」の地区スローガンを目標に第1グループ6クラブの会長・幹事の皆様の協力により、この1年間活動をして参りました。

しかしながら折からの新型コロナウイルス発生により例会の休会等奉仕活動に多大な制約を受けました。7月の各クラブ表敬訪問では、RI会長及びガバナーの年度方針テーマについて理解を深めて頂き、8月に入るとガバナー公式訪問に随行して各クラブの利点欠点について具体的に会員を交えてのクラブ

協議会は効果的でした。

又、地区グループ再編成についてガバナーより地区の方針等について丁寧な説明がありました。この件については会長・幹事会の席上でも意見交換を致しました。

第1グループでの活動行事としては10月にゴルフ大会、11月の情報研修会とI・Mの同時開催をし、ロータリーの勉強と親睦を深めました。又、年が明けて3月には浦安RC創立40周年記念例会に来賓はじめ第1グループ会員多数がお祝いに駆けつけてくれました。

この1年間微力ながらガバナー補佐の役職を無事果たせたことは、第1グループ各クラブ会長・幹事をはじめロータリアン皆様のおかげであると感謝申し上げます。



「1年間を振り返って」

ガバナー補佐
第2グループ担当

徳永 昌子 (鎌ヶ谷RC)

昨年から続く新型コロナウイルスの猛威に振り回された年度でした。密になることを避けるため会合や例会がことごとく取りやめとなり事業計画が思うように進みません。自分の事業自体も危機を感じながらガバナーのお手伝いが充分できたのでしょうか…

当初抱いていた熱意が不完全燃焼で終るのではないか、自分は最善を尽くしたであろうかなど様々な

思いをめぐらします。唯一救われたのは4月15日実施のゴルフ大会で晴天に恵まれ爽やか風の中、皆さんが楽しげにプレーすることができたことです。大したおもてなしもないままの実施でしたが皆様の笑顔にお会いできたことが一番でした。

残りの月日を悔いの無いもので終了するには、何事もベストを尽くし向き合う覚悟が必要です。皆さん、新型コロナウイルスに対抗し怯むことなく頑張る前に進みましょう。

最後に予定した事業計画の通り実施できなかったことを心からお詫びいたします。皆様の友情に感謝です。ありがとうございました。



「1年間を振り返って」

ガバナー補佐
第3グループ担当

藤澤 武彦 (千葉RC)

新型コロナウイルスのパンデミックとグループ再編問題に翻弄され続けた1年でした。その中でZoomでの会議に慣れることができたのはコロナ禍の中での数少ないプラス面であると考えます。上半期は最初の緊急事態宣言明けで感染症対策を取りながら対面例会が可能で、ガバナー公式訪問も無事対面で終了できました。11月の情報研修会は未来の

感染拡大を予測し「ロータリーはコロナに打ち克つ」をテーマにZoom併用のハイブリッドでパネルディスカッションが開催できました。1月からは再度の緊急事態宣言の発出となりましたが、1クラブを除き6クラブではZoomによるデジタル化を進め、理事会、例会を開催したことは今後の明るい兆しと考えます。I・Mも2月緊急事態宣言下でありましたが、ハイブリッドでライブ配信も行いました。各クラブでは理想には程遠いものの、コロナ禍に対応した奉仕活動を実施していただきました。また、幹事会を毎月輪番でZoomを交えて開催していただいた7名の幹事の皆さんには特に厚く御礼申し上げます。

1年間を振り返って



「1年間を振り返って」

ガバナー補佐
第4グループ担当

外立 徹 (千葉北RC)

私は、7月の月信でコロナ禍によって、従来の奉仕活動がままならないのであれば、ロータリーの奉仕の哲学「ロータリーの理念」を改めて学び、ロータリーの知識を深めることも重要で、そんな一年であって良いのではと述べましたが、正にその大切さを再認識する一年でありました。それは、地区内を騒がせた「地区グループ再編・ガバナー補佐選出」の問題でした。原因は実施内容・方法において、ロータリアンが自負し、信じているロータリーと相容れ

ない違和感を覚え、このままでは高潔で誠実な「ロータリーの理念」すら失われるかもしれない危機感があったのでしょう。

私はロータリーの変化を否定するものではありません。むしろ、ロータリーも他の組織と同様に社会の変化に合わせて変わらなければ衰退すると思っています。しかし、どんなに時が変わろうと不変でありたいものがあります。それはロータリークラブが他の奉仕団体とは質を異にする、必要不可欠のロータリーたる基本的哲学であり、それまで変わって欲しくはないのです。今、RIは未来に向けて新しいロータリーを模索中と伝え聞いています。願わくは新しい改革プログラムが、ロータリーの目指す未来が明るく希望あるものだと確信できるもので、且つそう予感できる改革であることを願っています。



「1年間を振り返って」

ガバナー補佐
第5グループ担当

窪田 謙 (富津シティRC)

ガバナー補佐としての任期を振り返って考えてみますと、実際は昨年7月からスタートしたわけですが、新型コロナウイルスの影響で研修会の中止などが重なり正直不安の中でのスタートとなりました。

7月に入りスタートと同時にガバナー補佐緊急会議が開かれて、地区グループ再編成の説明を受け、ガバナー補佐公式事前訪問において各クラブの挨拶の際にグループ再編成の説明をする事となり、我が第5グループは富津中央RCと富津シティRCの2クラブが次年度から第6グループに移行する事に成ることを説明して回ったのがガバナー補佐として初仕事でした。

ガバナー公式訪問においては木更津東RC 富津シティRCでの2クラブ合同ガバナー公式訪問がコロナ禍

の影響で少し延期になった以外は、漆原ガバナーはじめ地区役員の方と各クラブの皆様の協力を頂き滞りなく執り行う事が出来ました。

そして何よりコロナ禍の中、情報研修会を開催出来た事は唯一良かったです。

テーマ「今できるロータリー活動を考える」を掲げて、今のコロナ禍のなか、ロータリアンとして何を行うべきか、どんなロータリー活動が出来るのかを、諸岡パストガバナーを講師として招き、講演をして頂きました。又、各クラブからの代表に今現在のロータリー活動の現状と今後の活動に対して発表して頂きました。漆原ガバナーの掲げたスローガン「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」にちなんだ情報研修会で学んだ事を、各クラブに持ち帰りロータリー活動の実践をして頂きたく願います。

I・Mは緊急事態宣言中の為に中止とした事と、皆様方と親睦の場を持てなかった事が大変残念でありませんが、何より皆様方のご協力を頂きガバナー補佐として良い経験が出来た事を大変感謝いたします。本当に有難う御座いました。



「1年間を振り返って」

ガバナー補佐
第6グループ担当

三橋 美子 (鋸南RC)

漆原撰子ガバナーの「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」という地区スローガンのもとに4つの戦略的優先事項より第6グループのテーマとして「適応力を高め、未来のクラブを構築しよう」を掲げ、一年間ガバナー補佐の役目を務めさせて頂きました。

コロナ禍により経済社会が一変した現在、私自身大

変勉強になったと感謝しております。

ガバナー補佐として、グループ各クラブへの訪問、ガバナー公式訪問の随行を通して、各クラブの活動状況などを知ることができ、また会員の皆様との面識を深め、とても有意義な一年でした。

情報研修会、I・Mが未開催となってしまった事は残念です。力不足で至らない事があったと思います。この場をもってお詫びいたします。次年度の亀田美穂ガバナー補佐(鴨川RC)は優しく、行動力のある方です。本年度同様に第6グループの皆様へ、さらなるご協力をお願い申し上げます。御礼の挨拶とさせていただきます。

1年間を振り返って



「1年間を振り返って」

ガバナー補佐
第7グループ担当

三枝 巖 (茂原RC)

国際ロータリー第2790地区は、初めての女性ガバナーとして漆原摂子ガバナー年度が始まり、ホルガー・クナークRI会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」を受けて、漆原ガバナーは地区スローガンに「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」を用いて、2020-21年度が始まったのですが、新型コロナウイルス感染症の広がりにより、グルー

プ毎の状況は異なるとはいえ、ロータリー活動も大きな影響を受けました。第7グループにおいては、ガバナー公式訪問だけは、何とか、全クラブに伺うことが出来ました。しかし今年度の情報研修会、I・M、会長幹事会等の行事は中止となり残念でなりません。また、今後についても予定も立てられていない状況です。新型コロナウイルス感染症の1日も早い終息を願うところであります。

今年度は、多くの活動が制限されてしまい、ガバナー補佐としての役割を十分に果たすことが出来ず、心苦しい限りですが、2021-22年度に期待しつつ、ロータリー活動、奉仕活動等、地区・クラブ会員一同、頑張っていきたいと思います。



『変わる!! RI第2790地区』

ガバナー補佐
第8グループ担当

大塚 榮一 (八日市場RC)

昨年、7月1日に始まる、漆原ガバナー年度は、RIテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」(RIホルガー・クナーク会長) それを受けての地区スローガン「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」更には日本のロータリー運動が100周年目に当たる年として、前途に大きな意欲が示され始めました。しかしながら地区内

全クラブへも、この新型コロナウイルスが忍び寄り、漆原ガバナーには、担当する第8グループでの公式訪問も満足した形で行う事ができず、中止・延期が相次ぐロータリー活動へ苦悶された事と思います。“グループ再編”は第2790地区でも永年の悲願では有りましたが、続く梶原ガバナー年度、小倉ガバナー年度、鶴沢ガバナー年度へと漆原ガバナーの苦渋の決断にて大きく舵を切れ、方向性が明確に示されたので有ります。

この1年間、関係を頂きました多くのロータリアンの皆様へ、ご協力、そしてご助言に対して、心より感謝申し上げます。



「1年間を振り返って」

ガバナー補佐
第9グループ担当

飯田 武之 (多古RC)

緊急事態宣言が発令された1月以降、担当クラブの例会も相次いで休会を余儀なくされ、なかなか、例会訪問も儘ならない状態でしたが、4月になって少しずつ例会訪問ができるようになりました。

ガバナーの補佐として、通常の業務は、あまり出来ませんでした。当第9グループは、第8グループと合併し、来年度、新しいガバナー補佐を推薦しなければならないという難題に直面致しました。

その過程で、母校の大先輩である第8グループ大塚ガバナー補佐とも、連絡を密にし、非常に助けて

頂きました。結果は、一旦停止という事になりましたが、大塚ガバナー補佐の優しい人柄に触れる事ができた事が、今思えば良い経験になったと思います。

又、漆原ガバナーと梶原ガバナーノミニーにも、グループ再編成問題で連絡を密にして頂き、何度も説明に遠方まで来て頂きました。

お二人の責任感の強さ、誠実さ、忍耐力の強さには、敬服いたします。

グループ再編成に関し、次年度のスタートは延期されましたが、“雨降って地固まる”と申します。これから、第2790地区がより良くなっていくと信じております。

1年間を振り返って



「コロナ禍とともに」

ガバナー補佐
第10グループ担当

橋本 和治 (印西RC)

ガバナー補佐としての任期も残り僅かとなりました。この間、グループ内各クラブの会長、幹事の皆様にお支え頂きましたことに心から感謝申し上げます。

残念なことに、コロナのため情報研修会もI・Mも開催することは叶いませんでしたが、ガバナー公式訪問に

ついては予定通り実施することができ、安堵しています。

今から27、28年前に流行った『ロード』という歌に「何でもないようなことが幸せだったと思う」という歌詞があります。例会、親睦の集いや旅行、様々な奉仕活動を普通に行えることがいかに幸せであったかと痛感しています。一方で、Zoomという新しいツールを駆使し、リモートやハイブリッドでの例会開催も行われるようになったことで出張先から例会に参加するという以前では考えられなかったことも可能になりました。新型コロナウイルスとの戦いは長引きそうですが、ロータリアンの知恵を結集して乗り越えていきましょう。

一年間、誠にありがとうございました。



「1年間を振り返って」

ガバナー補佐
第11グループ担当

鈴木 桂三 (柏西RC)

新型コロナウイルス感染拡大の中始まった漆原ガバナー年度、ガバナー補佐として、RIテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」と地区スローガン「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を!」を活動の主テーマに決めました。

ガバナー公式訪問も無事終わり、11月6日の情報研修会は、地区スローガンをメインテーマに水野晋治地区職業社会国際奉仕統括委員長をお招きし基調講演をして頂きました。会員の奉仕活動やロータリー財団への理解を深めることができましたと思います。

その後コロナウイルスの感染急拡大により12月からはグループ内のクラブ例会等がすべて中止となり、年明け後には緊急事態宣言発令により2月19日開催予定で

あったI・Mも残念ながら中止に追い込まれました。

I・MではRIテーマに関連した講演を世界的にも著名なロータリアンでもある北清治さんをお迎えして実施する予定でした。そしてグループ会員一人ひとりの今後のロータリーライフの参考にさせていただきたかった…

4月からは各クラブの例会も正常に開催されるようになり4月9日にはグループの親睦合同ゴルフ大会開催し、4月23日には最後の合同例会を数々の感染対策を取り開催することができました。

合同例会ではゴルフの表彰式とグループ内で実施しました財団への寄付コンテストの表彰式と各クラブ財団委員長長の卓話をしていただくことができました。

通年は3回目の合同例会は親睦中心でしたが今年度はコロナ感染拡大でI・Mの中止と飲食の制限があり少し形を変えた合同例会の開催になりました。

最後にグループ内の財団への寄付額が伸びたこととポールハリス・ソサエティ (PHS) メンバーが6名増えたことが一年間の成果だと嬉しく思います。



「1年間を振り返って」

ガバナー補佐
第12グループ担当

佐藤 正直 (四街道RC)

第12グループ担当ガバナー補佐を務めさせて頂きました佐藤です。

各クラブ会長・幹事及び会員の皆様には大変お世話になり、有難うございました。

在任中は、コロナ禍により緊急事態宣言が発令され、対面による会合の自粛等もあり、例会の中止や、意思疎通に大切な飲食を伴った会合も自制を余儀なくされ、

円滑な運営に心配の多い年度でした。

そのような中で、「ガバナー公式訪問」と「情報研修会」を挙行出来たことは、第12グループの皆様のご理解とご協力の賜物と感謝いたしております。

また、本年度のRIテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」でしたが、コロナ禍により、新規会員開拓が思うようにできず残念に思っております。

漆原ガバナーはじめ各委員会及び事務局の方々には、在任中ひとかたならぬご厚情をいただき厚くお礼申し上げます。

ロータリアンの皆様のご理解とご協力により、貴重な一年間を過ごさせて頂きました。

内藤八州夫補佐幹事と共に感謝申し上げます。

1年間を振り返って



「1年間を振り返って」

ガバナー補佐
第13グループ担当

山田 正記 (松戸西RC)

コロナ禍とグループ再編成に翻弄された1年だったと思います。私が、前任者を引き継いだ時は、緊急事態宣言が解除され、小康状態を保っていましたが、秋口から第2波、年末にかけて第3波と来襲し、年明けと共に再度緊急事態宣言が発出されることになり、3月に一旦解除されたものの、4月に入って変異ウイルス感染者の増加と共に第4波に入った状態です。

そのような中でも、当グループとしては、私が主催者となった情報研修会、I・M、そして5クラブ親睦ゴルフ大会を無事開催できましたことは、会員の皆様のご協力の賜物であると感謝しています。

そしてグループ再編成ですが、地区内の各グループ、会員の皆様のコンセンサスが十分得られなかったため2年間延期されることになりました。それ自体は英断であったと思いますが、RIでSRF構想が検討されていることもあり、今後地区は、会員とのコミュニケーションをより一層取る必要があると思います。

今後は、この経験を生かして、ロータリー活動に取り組んで行こうと思っています。



「1年間を振り返って」

ガバナー補佐
第14グループ担当

伊藤 義雄 (野田RC)

2019年8月より2020-21年度のガバナー補佐会議が始まり、漆原ガバナーは「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」という地区スローガンを立てました。

第14グループとしても、どのように各クラブへ伝えていくかと非常に緊張して会議に臨んだものでした。

ただ、翌年2020年3月に入ると、新型コロナウイルスによる世界的なパンデミックに襲われ、各クラブの例

会も休会が多くなってしまいました。そのうえ、グループ再編の話が出て一年間振り回されていたような感じがします。

しかし、このコロナ禍のときでも第14グループの各クラブは制限のある中活動し、医療従事者に対し寄付をし、自治体にアクリル板の提供をするなどしました。まさに、「奉仕の理念の実践」を行いました。

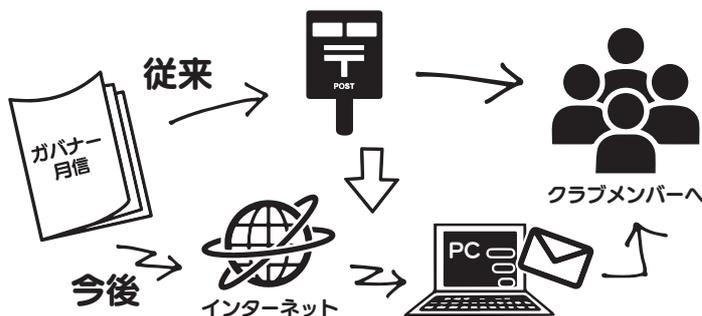
この一年間いろいろあったと思いますが、グループ再編は新しいロータリークラブを作るということに繋がっていくかもしれませんし、これからの会議もよりデジタル化していくかもしれません。いい機会だと思い、各クラブもこれらに対処して行って欲しいと思います。

2021-22年度 ガバナー月信発行についてのお知らせ

月信5月号でお伝えした通り、2021-22年度ガバナー月信の発行は完全デジタル化への移行にチャレンジ致します。7月号については従来通り印刷物の配布とWEB掲載を行いながら、同時に各クラブに向けてのメール配信も実施していきます。下期からは完全デジタル配信に移行する予定です。月信のペーパーレス化は「環境の保全」に対してはささやかな取り組みかもしれませんが、一人ひとりの意識を変革させるという点においては大きな効果があると信じています。

尚、新しい試みとして月信に張り付けられたQRコードからのアクセスにより私からの挨拶も動画で観れる準備を進めています。皆様のご理解、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

ガバナーエレクト 梶原 等



叙勲・褒賞・表彰 (敬称略)

藍綬褒章



高橋 邦夫
(東金 RC)

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

メジャードナー

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



鈴木健吾
(柏西 RC)



岡島昭信
(柏西 RC)
8回目



川和弘行
(柏西 RC)
8回目



榎本洋史
(柏西 RC)
8回目



風間 茂
(八千代 RC)
8回目



中村 昇
(勝浦 RC)
7回目



千葉正徳
(勝浦 RC)
7回目



齋藤豊久
(勝浦 RC)
6回目



中村 満
(勝浦 RC)
6回目



高梨薫敏
(勝浦 RC)
6回目



鈴木覺三郎
(勝浦 RC)
6回目



小林悠紀
(勝浦 RC)
5回目



関正夫
(勝浦 RC)
4回目



大内啓
(柏南 RC)
4回目



牧野利美
(勝浦 RC)
3回目



友野俊政
(野田東 RC)
3回目



林剛史
(野田東 RC)
3回目



亀田美穂
(鴨川 RC)
2回目



戸部謹爾
(野田東 RC)
2回目



田中由夫
(野田東 RC)
2回目



三上直哉
(勝浦 RC)
1回目



磯野典正
(勝浦 RC)
1回目



吉田理愛
(勝浦 RC)
1回目



大竹清治
(成田コスモポリタン RC)
1回目



浅野 繁
(柏南 RC)
1回目

新ポール・ハリス・フェロー



森秀樹
(柏南 RC)
1回目



三上直哉
(勝浦 RC)



磯野典正
(勝浦 RC)



中村吉政
(勝浦 RC)



小林淳一
(勝浦 RC)



佐久間淳宏
(勝浦 RC)



関裕仁
(勝浦 RC)



溝口次郎
(勝浦 RC)



西崎和治
(勝浦 RC)



久我守正
(勝浦 RC)



吉野貴代
(勝浦 RC)



内村 愛
(勝浦 RC)

ポリオ・プラス

米山功労者



林昌鑑
(勝浦 RC)



出山嘉彦
(成田コスモポリタン RC)



岩澤弘
(成田コスモポリタン RC)



飯島一扶
(成田コスモポリタン RC)



山本博久
(成田コスモポリタン RC)



藤崎康人
(成田コスモポリタン RC)



藤崎康人
(成田コスモポリタン RC)
9回目



滝澤政樹
(成田コスモポリタン RC)
7回目



宮田明俊
(成田コスモポリタン RC)
7回目



山崎新一
(船橋東 RC)
5回目



神谷修一
(成田コスモポリタン RC)
5回目



千葉正徳
(勝浦 RC)
4回目



石井量久
(成田コスモポリタン RC)
4回目



藤崎祥弘
(成田コスモポリタン RC)
3回目



浅野正敏
(八千代 RC)
3回目



遠藤博一
(野田東 RC)
3回目



中島真好
(松江北 RC)
2回目



林剛史
(野田東 RC)
2回目



五十嵐博章
(千葉南 RC)
1回目



村田 等
(銚子 RC)
1回目

新ロータリアン (敬称略)



櫻井 亘
(富里 RC)
温泉浴場
2020年6月2日入会



山藤利夫
(富里 RC)
電気工事
2020年11月27日入会



鈴木隆男
(船橋東 RC)
証券業
4月1日入会



齋田 忠
(八日市場 RC)
地方銀行
4月1日入会



南 信好
(八日市場 RC)
保険業
4月1日入会



湯浅葉子
(佐倉中央 RC)
証券
4月1日入会



廣瀬淳一
(松江北 RC)
塗装・防水工事
4月7日入会



野田真司
(船橋東 RC)
証券業
4月8日入会



玉作朋之
(君津 RC)
建設業
4月12日入会



山内雅夫
(君津 RC)
鉄鋼原料処理
4月12日入会



折田勝彦
(君津 RC)
産業用設備洗浄業
4月12日入会



松浦広樹
(君津 RC)
信用金庫
4月12日入会



藤代公成
(君津 RC)
商業銀行
4月12日入会



金子勝美
(市原中央 RC)
信用金庫
4月16日入会



大八木淳子
(成田 RC)
航空運輸
4月16日入会



林 健二
(成田 RC)
都市ホテル
4月16日入会



櫻井正則
(野田 RC)
商業銀行
4月19日入会



家田真人
(野田 RC)
商業銀行
4月19日入会



飯田重行
(東金 RC)
商工会講師
4月20日入会



原伸太郎
(東金 RC)
銀行
4月20日入会



熊澤直紀
(銚子 RC)
海上保険
4月21日入会



大西達也
(松戸 RC)
地方銀行
4月21日入会



村山 寛
(船橋西 RC)
放送・通信業
4月23日入会



宮本昌彦
(船橋西 RC)
地方銀行
4月23日入会



木村健一
(松戸東 RC)
住宅建築
5月7日入会

国際ロータリー第 2790 地区（千葉）出席・会員数報告（2021 年 4 月）

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2020 7/1	女性	当月	女性	増減
第1グループ	市川川	100.00	3	42	4	42	4	0
	市川東	100.00	3	39	2	37	1	△2
	市川南	88.00	4	23	2	20	2	△3
	浦安	62.50	4	43	2	42	2	△1
	市川シビック	78.16	3	33	0	32	0	△1
	浦安ベイ	74.70	3	13	2	16	3	3
	平均	83.89	3.33	32.17	2.00	31.50	2.00	△4
第2グループ	船橋	81.04	2	30	0	29	1	△1
	船橋西	80.73	4	28	5	25	5	△3
	鎌ヶ谷	77.27	4	26	1	27	1	1
	船橋橋東	79.89	4	27	2	26	2	△1
	船橋みなと	93.94	3	13	2	13	2	0
	平均	81.27	3.33	23.00	2.00	22.50	2.17	△3
第3グループ	千葉	100.00	4	98	5	108	6	10
	千葉	100.00	3	53	0	56	0	3
	千葉西	78.73	4	51	5	47	5	△4
	千葉中央	94.38	3	26	0	26	1	0
	千葉幕張	100.00	4	37	4	31	3	△6
	千葉東	66.90	2	23	1	24	1	1
	千葉若潮	69.73	2	31	1	33	1	2
	平均	87.11	3.14	45.57	2.29	46.43	2.43	6
第4グループ	千葉南	69.08	4	51	5	46	3	△5
	市原	56.90	2	59	5	63	6	4
	千葉港	72.00	2	25	3	25	3	0
	市原中央	69.65	4	45	1	46	1	1
	千葉北	80.11	4	30	4	32	4	2
	千葉緑	72.50	2	23	2	23	2	0
	平均	70.04	3.00	38.83	3.33	39.17	3.17	2
第5グループ	木更津	84.28	4	24	3	27	3	3
	上総	58.75	4	15	0	14	0	△1
	富津中央	64.92	4	36	5	35	5	△1
	木更津東	69.80	4	43	7	42	7	△1
	木更津浦	66.09	4	57	5	56	5	△1
	袖ヶ浦	86.96	4	26	4	27	4	1
	富津シティ	81.25	4	12	1	12	1	0
	平均	73.15	4.00	30.43	3.57	30.43	3.57	0
第6グループ	館山	79.16	4	49	4	49	5	0
	鴨川	72.36	4	33	5	31	5	△2
	勝浦	90.60	5	42	5	40	5	△2
	千倉	75.00	2	4	2	4	2	0
	鋸南	88.46	2	13	2	13	2	0
	館山ベイ	69.79	4	24	0	25	0	1
	平均	79.23	3.50	27.50	3.00	27.00	3.17	△3
第7グループ	茂原	77.90	2	57	5	56	4	△1
	東金	81.80	2	18	2	20	3	2
	大原	89.10	4	10	1	10	2	0
	大多喜	62.50	2	6	1	8	1	2
	成田空港南	82.61	3	29	0	26	0	△3
	茂原中央	82.07	4	20	2	24	3	4
	大網	81.67	2	30	2	30	2	0
東金ビュー	90.90	2	13	1	11	1	△2	
	平均	81.07	2.63	22.88	1.75	23.13	2.00	2

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2020 7/1	女性	当月	女性	増減
第8グループ	銚子	89.37	4	38	4	37	4	△1
	旭	74.90	4	39	4	38	4	△1
	八日市場	67.90	4	39	3	39	3	0
	銚子東	76.73	4	30	2	27	2	△3
	平均	77.23	4.00	36.50	3.25	35.25	3.25	△5
第9グループ	佐原	100.00	1	46	0	43	0	△3
	多古	77.97	4	19	0	17	0	△2
	小見川	86.67	2	26	0	28	0	2
	佐原香取	76.66	2	20	0	20	0	0
	平均	85.33	2.25	27.75	0.00	27.00	0.00	△3
第10グループ	成田	69.53	4	64	4	62	6	△2
	八街	89.11	3	29	3	29	3	0
	印西	88.88	3	14	1	11	1	△3
	白井	80.00	3	11	1	12	1	1
	富里	54.23	4	33	1	33	1	0
成田コスモポリタン	62.87	4	71	0	71	0	0	
	平均	74.10	3.50	37.00	1.67	36.33	2.00	△4
第11グループ	柏	55.47	3	64	8	63	9	△1
	我孫子	78.08	3	32	3	32	3	0
	柏西	77.42	2	58	3	61	3	3
	柏東	71.20	3	34	5	33	5	△1
	柏南	76.39	2	39	9	39	9	0
	平均	71.71	2.60	45.40	5.60	45.60	5.80	1
第12グループ	習志野	67.53	4	31	1	31	1	0
	八千代	85.75	4	54	0	54	0	0
	佐倉	74.07	3	36	2	36	3	0
	八千代中央	68.30	3	26	1	26	1	0
	四街中央	67.03	4	27	4	27	4	0
	習志野中央	67.22	4	45	5	45	5	0
佐倉中央	69.56	2	23	6	23	7	0	
	平均	71.35	3.43	34.57	2.71	34.57	3.00	0
第13グループ	松戸	92.01	4	60	0	62	0	2
	松戸東	90.00	4	44	0	46	0	2
	松戸北	78.00	2	33	0	32	0	△1
	松戸中央	73.26	4	37	7	37	7	0
	松戸西	86.42	3	27	0	27	1	0
	平均	83.94	3.40	40.20	1.40	40.80	1.60	3
第14グループ	野田	87.72	5	55	6	57	6	2
	流山	54.17	3	16	3	16	3	0
	野田東	69.44	2	18	0	18	0	0
	流山中央	47.00	2	20	1	19	1	△1
	野田セントラル	86.96	3	24	1	23	1	△1
	平均	69.06	3.00	26.60	2.20	26.60	2.20	0

クラブ数 82RC		
2020 年 7 月 1 日	地区会員数	2,726 人
2021 年 4 月 末 日	地区会員数	2,718 人
2020 年 7 月 1 日	地区女性会員数	205 人
2021 年 4 月 末 日	地区女性会員数	215 人
当月平均出席率		78.04%
増減		△8
女性会員増減		10

物故会員 (啓略)

 小野 成子 (千葉南 RC)
逝去日: 2020 年 11 月 19 日 (享年 76 歳)

 末吉 淳子 (千葉南 RC)
逝去日: 2021 年 1 月 8 日 (享年 83 歳)

 藤原 勝次 (市原中央 RC)
逝去日: 2021 年 4 月 2 日 (享年 73 歳)
ロータリー歴: 2011-12 クラブ幹事

 高島 治雄 (富津中央 RC)
逝去日: 2021 年 5 月 3 日 (享年 88 歳)
ロータリー歴: 1996-97 クラブ会長
2008-09 クラブ会長

地区大会バックヤード風景

月信委員会 副委員長 千葉 正徳 (勝浦RC)



司会者デスク
アクリル板で
飛沫防止策

本番前のリハーサル
真剣そのもの



大会前夜 漆原ガバナー・牧野利美三大大会・地区大会統括委員長を中心とした綿密なミーティング。



これはスゴイ! TVスタジオ? 画像・音響・オンラインによるライブ配信機材。スタッフ一同緊張の5時間でした。



ゆったり静かな受付・体温測定、アルコール消毒も完璧です。ソーシャルディスタンスとマスク着用、コロナ対策の配慮は十分でした。



本田RI会長代理御夫人お見送り。会員一同整列、出席者の皆様お疲れ様でした。



心地よい疲労感の中で、反省会。3本締め。大変お疲れ様でした。

2020-21年度地区大会報告 地区大会を振り返って

第2790地区 2020-21年度 地区大会統括委員長 牧野利美 (勝浦RC)
地区大会実行委員長 磯野典正 (勝浦RC)

イレギュラー続きの地区大会、2転3転どころではありませんでした。

皆様ご承知の通り本来地区大会とは、地区内2千人を超える多くのロータリアンが一同に会する地区内の当該年度最大の行事です。しかし、新型コロナウイルス感染が猛威を奮い、日々感染状況が変化する大変困難な状況の中、なんとか地区大会を実施したい、成功させたいとの思いをもって私達実行委員会は、その都度最善な方法を模索しながら変更に変更を重ねた準備となりました。

過去に前例がない新しい取り組みですので、2度に亘る日程の変更、開催方法の検討、いやその前に開催できるのかできないのか・・・ 毎日、感染状況の報道を見ながらの準備でした。最終的には、無観客でYouTubeでのオンライン配信での開催となりましたが、ここに至るまでの準備段階では何回計画を変更したか・・・。

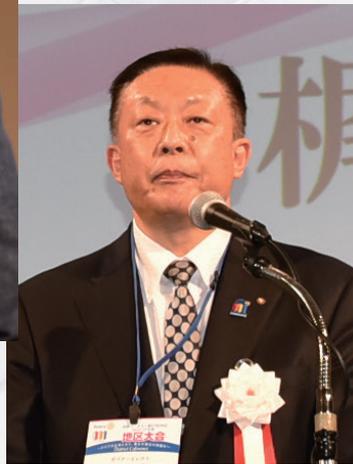
しかし、どの様な状況であっても様々な『機会の扉』があり、その扉を自分たちで開いていくことで更にその先の扉へと繋がっていくことが地区大会を終えた今、理解できました。正直申しまして、大変苦労続きの地区大会となりましたが、現在の状況下において最善な方法で開催できたことを嬉しく思います。今地区大会に際して、ご尽力下さいました関係者全ての方々に御礼申し上げます。

最後になりましたが、一日も早くこのコロナ禍が終息し、再び地区内多くのロータリアンが顔を突き合わせた盛大な地区大会が開催できる日を心待ちにして、私からの大会報告とさせていただきます。



漆原摂子ガバナーあいさつ

ロータリーは
機会の扉を開く



梶原等ガバナーエレクトあいさつ



開会のことば
牧野利美 統括委員長



司会
磯野典正 実行委員長
西崎和治 実行副委員長



本田博己 RI会長代理



漆原ガバナーと本田博己 RI会長代理 及び 由美子令夫人

地区大会記念ゴルフ大会 報告

国際ロータリー第2790地区2020-21年度記念ゴルフ大会は、2021年5月17日、市原市の鶴舞カントリー倶楽部にて開催されました。コロナ禍の中での開催であり、ゴルフ場のスタッフとも十分な感染予防対策を相談の上、開催内容もハーフコンペとし、表彰式や懇親パーティーも無しという変則的な大会になってしまいましたが、無事に終了することができました。当初は、14グループ10名ずつの参加者を募り140名規模の大会を計画しておりましたが、各地で緊急事態宣言やまん延防止条例が出されている中での開催にもかかわらず、最終的には113名の参加者を得て開催できました。

各グループのガバナー補佐の皆様のご尽力の賜物と、心より感謝申し上げます。

開催にあたり、ご協力いただきました鶴舞カントリー倶楽部の支配人をはじめスタッフの皆様、裏方としてお手伝いいただいたガバナー事務所の皆様、勝浦ロータリークラブの皆様、本当にありがとうございました。



一般の部 優勝 長谷川 泰士さん



一般の部 準優勝 中野 陽介さん



一般の部 3位 白鳥 晴嗣さん



シニアの部 優勝 三枝 巖さん



女子の部 優勝 洪 美淑さん



BB賞 國吉 晃甲さん

団体の部 優勝 第1グループ(宮崎 俊雄AG) **準優勝** 第9グループ(飯田 武之AG) **3位** 第2グループ(徳永 昌子AG)

地区大会記念ゴルフ大会成績

一般の部	
順位	氏名
優勝	長谷川 泰士
準優勝	中野 陽介
3位	白鳥 晴嗣
シニアの部	
優勝	三枝 巖
女子の部	
優勝	洪 美淑

団体の部 (上位5名)	
順位	グループ
優勝	第1グループ 長谷川 泰士・大塚 義仁・片野 伸介 小池 基之・下田 荘一郎
準優勝	第9グループ 白鳥 晴嗣・高崎 渡・太田 直樹 佐藤 政夫・花香 薫
3位	第2グループ 中野 陽介・飯嶋 孝明・藤井 克典 武本 浩基・星本 慎児



第2790地区 2020-21年度 地区大会記念ゴルフ大会
実行委員長 高梨 薫敏 (勝浦RC)